

総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会
省エネルギー小委員会建築物エネルギー消費性能基準等ワーキンググループ及び
社会資本整備審議会建築分科会建築環境部会建築物エネルギー消費性能基準等小委員会
合同会議（第12回） 議事要旨

1. 日時 令和元年9月2日（月）10:00～12:00

2. 場所 中央合同庁舎3号館4階特別会議室

3. 出席者

＜省エネルギー判断基準等小委員会＞

田辺委員長、秋元委員、清家委員、澤地委員、前委員

＜建築物エネルギー消費性能基準等ワーキンググループ＞

川瀬座長、田辺委員、中村委員、望月委員、山下委員

本荘オブザーバー、岡田オブザーバー、小泉オブザーバー、奥田オブザーバー、加藤オブザーバー

4. 議題

①建築物エネルギー消費性能基準等に係る省令・告示案について

②その他

5. 議事要旨

議題①・②について以下のとおり審議が行われた。

議題①建築物のエネルギー消費性能基準等に係る省令・告示案について

資料2-1、2-2について事務局より説明を行った。当該資料に対する主な意見は以下のとおり。

- ・パブリックコメント概要案について、一般の人には難しいのではないかと。わかりやすい内容となるよう工夫をした方がよい。
- ・床暖房の評価方法の見直しに関しては、データが出てきて評価法を検討して計算プログラム

に反映するまでに時間がかかる。スケジュール感をしっかり持って進めてほしい。

- ・評価方法の簡素化については、細かく影響を見ていき丁寧にフォローアップを行うべき。
- ・簡易計算方法については、本来は正しい方法にて計算するものであり、安易な方向に流れないように誘導すべき。建築物省エネ法における省エネ基準適合可否判断のみに使うのであれば問題ないが、根拠をオープンにしてほしい。
- ・床暖房への配慮など全体的にいつどのように変化するかわからないものがあるので、情報の共有を早めにしてほしい。
- ・実際には、設計段階で考慮できない運用による省エネもある。快適性を損ねてまで無理に設計時のエネルギーを減らすようなことにならないよう、今後は運用実態の把握に努め、適宜、評価方法に反映させていってほしい。
- ・各論ではなく、日本全体としてどこに向けて省エネ施策を進めていくか方向性を示してほしい。

議題②その他

資料3（今後のスケジュール）について事務局より説明を行った。